

# 中期的な成長に向けた取り組み

2014年12月3日

富士通株式会社  
代表取締役社長

山本 正巳

# 2014年度上期を振り返って

# 2014年度上期概況

(億円)

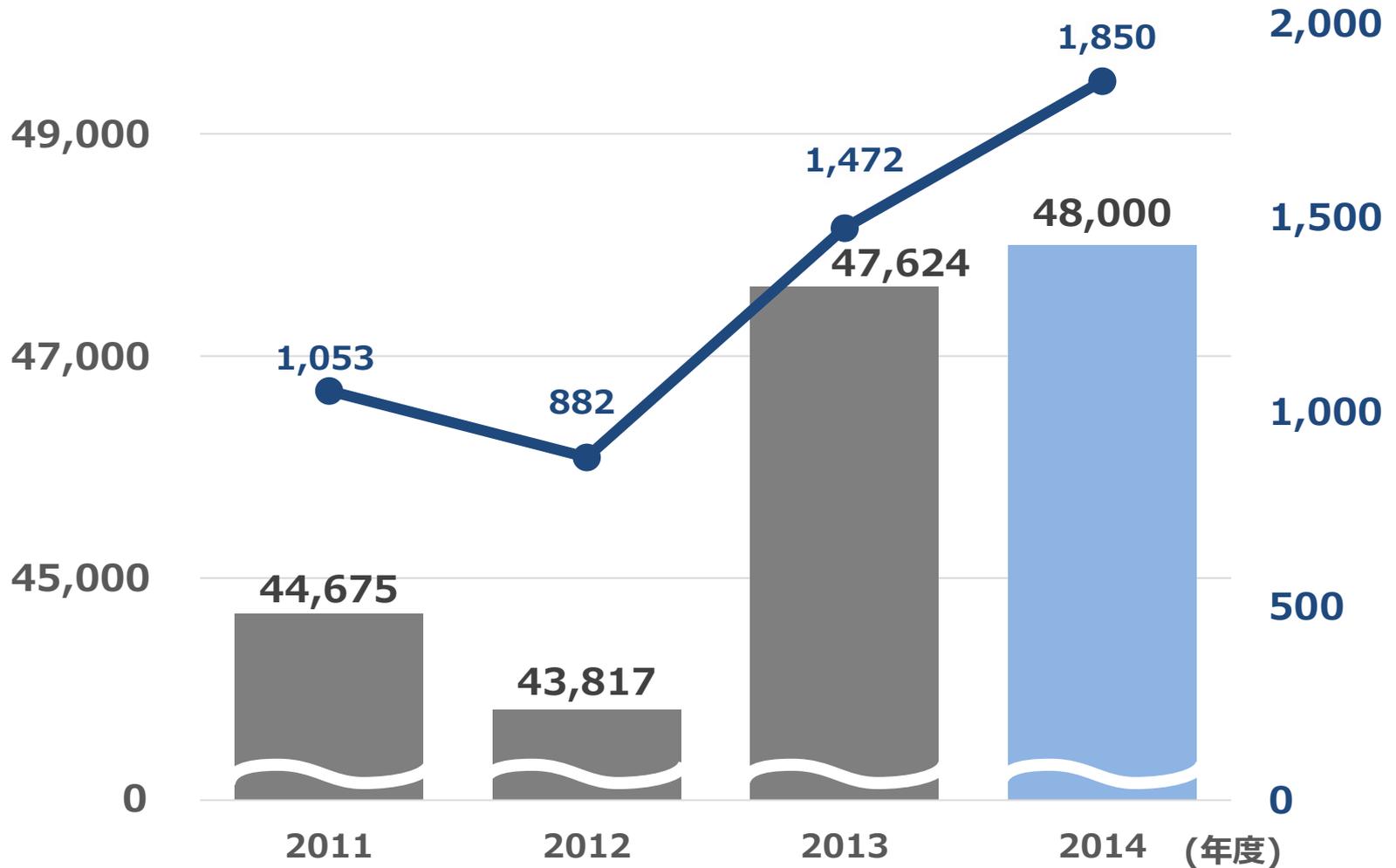
			第二四半期	前年同期比	上期	前年同期比	前回予想比*
テクノロジー	サービス	売上収益	6,485	+168	12,290	+424	→
		営業利益	352	-55	484	-90	→
ソリューション	システム プラットフォーム	売上収益	1,355	-181	2,631	-132	→
		営業利益	40	-155	23	-150	→
ユビキタスソリューション		売上収益	2,450	-177	5,139	+352	↗
		営業利益	9	+125	9.6	+382	↗
デバイスソリューション		売上収益	1,451	-139	2804	-240	→
		営業利益	66	-62	99	-100	→
その他/消去又は全社		売上収益	-501	+47	-936	+9	→
		営業利益	-218	-11	-380	-21	→
合計		売上収益	11,241	-281	21,928	+412	+428
		営業利益	249	-161	322	+18	+72

\* 2014年7月30日に発表した業績予想との比較

# 2014年度 年間業績予想

売上収益  
(億円)

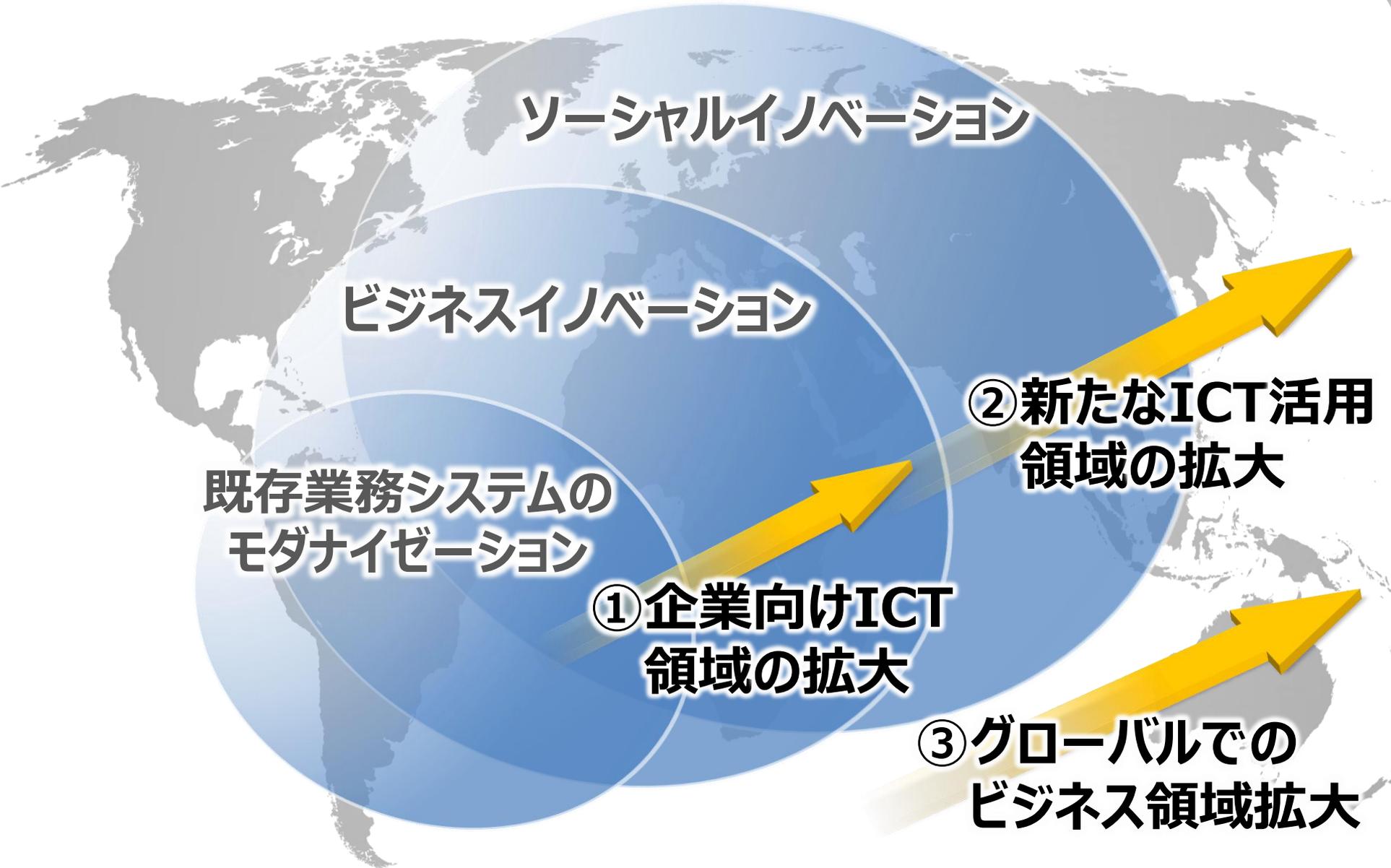
営業利益  
(億円)



※2011-2012年度は、日本基準

# 成長戦略 ～ビジネス領域の拡大に向けて～

# 成長戦略の枠組み



# ビジネスイノベーション分野への取り組み例

- ビッグデータを活用した現場でのビジネス革新
- 売上・利益に直結するICTの活用がますます重要に

## マーケティング革新



- ・オムニチャネル活用
- ・ソーシャルメディア分析
- ・O2O(Online to Offline)

## ワークスタイル変革



- ・現場でのスマートデバイス活用
- ・個人端末の業務利用(BYOD)
- ・コミュニケーション基盤の統合

## ものづくり革新



- ・モノを作らないものづくり(VR)
- ・3Dプリンター活用
- ・製造ラインでビッグデータ活用

# ビジネスイノベーション分野の実績

## ■ 当社の総合力とパートナーシップを活かした商談展開

### ビッグデータ活用

マーケティング高度化等



ビッグデータ商談  
500件/年

### ワークスタイル変革

グローバル  
コミュニケーション基盤



累積導入実績  
100万ID

### ものづくり革新

コンサル、VR活用等



商談200件/年

# ソーシャルイノベーション分野への取り組み例

- 社会課題の解決に向けた取り組みをビジネスとして展開
- 様々な企業・団体との共創による新たな価値の提供

## 健康・医療



一人ひとりのための  
医療サービスを提供

## 交通・車



位置情報サービスを活用し  
新たなサービスを創出

## 食・農業



安心・安全な  
食のバリューチェーンを構築

# ソーシャルイノベーション分野の実績

## ■ 具体的な成果、着実な商談獲得

### 健康・医療

#### 広域医療連携 (HumanBridge)



全国30以上の広域  
ネットワークで採用

### 交通・車

#### 走行データに基づく 道路要注意箇所情報



各地域トラック協会での  
活用（6件）  
自治体向けに提供開始  
（9月30日～）

### 食・農業

#### クラウド (Akisai)



国内200団体以上、  
トルコ、ベトナム等  
での採用

# モバイルビジネス戦略

## ■ ビジネスイノベーション、ソーシャルイノベーションにおける ヒューマンインターフェースとしての位置づけ

### ビジネスイノベーション事例 ワークスタイル変革による 営業力のさらなる強化



ふくおかフィナンシャルグループ様

端末、ネットワーク、システムの総合力で  
セキュリティと利便性の両立を実現

生体認証対応タブレット  
(カスタマイズ)

モバイル認証サービス

セキュアなネットワーク

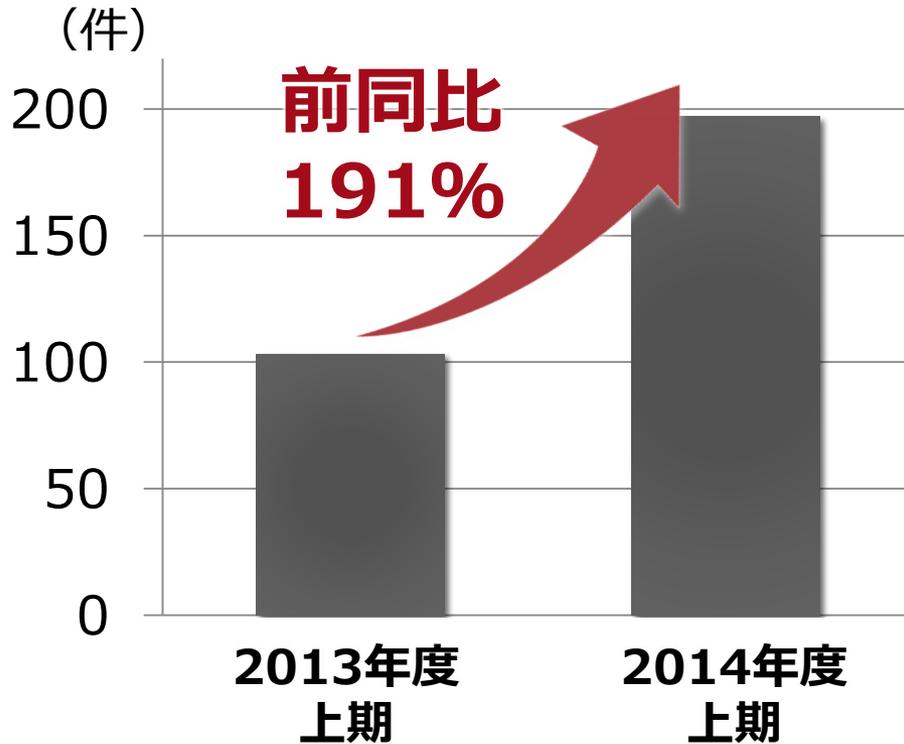
紛失、盗難時のリモート消去

当社センターによる24時間監視・運用

# セキュリティ分野への取り組み

## ■サイバーセキュリティに関するお客様サポートを強化

### セキュリティ商談件数推移



セキュリティイニシアティブセンター

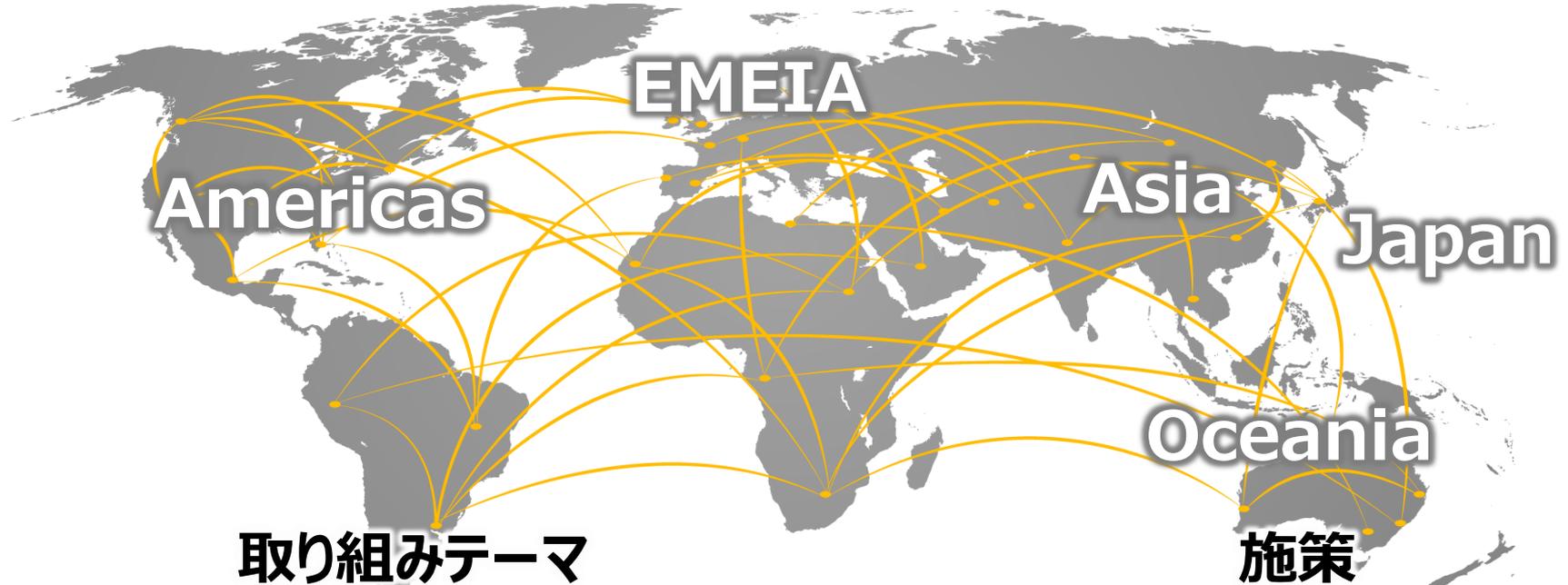
# グローバルビジネス強化に向けた事業体制の見直し

- 従前の日本、海外の区分をなくし、5リージョン体制に再編
- グローバルでの商品・サービス力強化のため、グローバルデリバリー部門を再編・強化



# グローバルデリバリー機能の強化

- グローバルに共通なサービス・ソリューション提供の拡大  
マネージドサービス、イノベーションソリューション等



取り組みテーマ

施策

- ① グローバルサービス拠点の整備・拡充
- ② ツール、基盤の世界共通化
- ③ グローバル商品・ソリューションの強化

- ① 開発投資
- ② 人材開発、教育
- ③ 社内ITインフラのグローバル共通化に向けた刷新
- ④ M&A

# グローバルデリバリー分野の実績

## ■ 日本で培ったケイパビリティを各国に展開

### 科学

**King Abdulaziz  
University様**  
(サウジアラビア)



**HPCシステムとサービス  
ソリューションの導入**

### 金融

**CaixaBank様**  
(スペイン)



**8,500台のスマート  
ATMを受注し、遠隔運  
用監視サービスを提供**

### 交通

**PT. Marga Utama  
Nusantara様**  
(インドネシア)



**「SPATIOWL」  
交通情報提供サービス  
を活用**

# イノベーション創出に向けたプラットフォーム

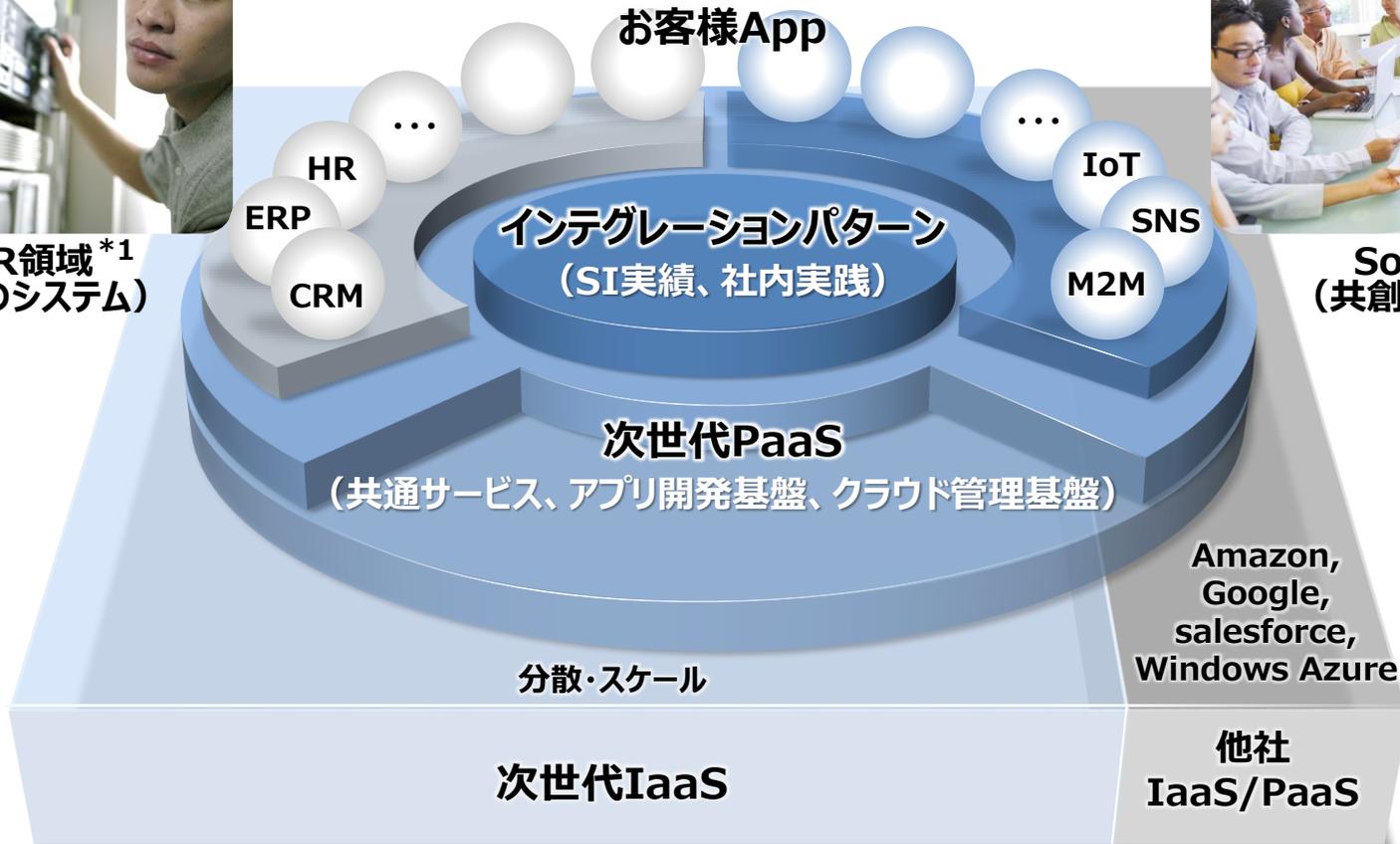
■ 当社SEの知見を活かし、ミドルウェア、ネットワークの叡知を結集した高付加価値なクラウドプラットフォームを構築、提供



SoR領域\*1  
(記録のシステム)



SoE領域\*2  
(共創サービス)



## デジタルビジネスプラットフォーム

\*1 SoR: Systems of Record  
\*2 SoE: Systems of Engagement

# IoT領域のビジネス創出に向けた取り組み

## ■ IoTプラットフォームの提供 (11月13日発表)

- お客様との共創ビジネスの推進、グローバルなエコシステム形成を追求
- ネットワーク、クラウド、アプリを含めた総合的な価値を実現

## ■ 業界標準化への積極的な関与

- IIC\*にSteering Committeeメンバーとして参加

\* IIC: Industrial Internet Consortium



# IoT領域での取り組み事例

## IoTによる革新が期待される幅広い分野で実証実験を展開

### スマートシティ

#### LED街路灯の遠隔監視、制御



かがつう様

### 健康

#### 高齢者の見守り 自立支援



INSIGHT, CASALA<sup>\*1</sup>  
(アイルランド)

### ものづくり

#### Smart Factoryの 社内実践



FINET<sup>\*2</sup>、シスコシステムズ様、  
smart-FOA様

\*1 INSIGHT : アイルランド科学財団 (SFI) 設立の研究センター  
CASALA: Centre for Affective Solutions for Ambient Living Awareness  
(センシング環境を備えた実験用スマートハウス)

\*2 FINET:富士通アイ・ネットワークシステムズ

# 次世代ネットワーク分野での取り組み

- データセンターの仮想化に続き、複数センター間の仮想化に対応
- クラウド・IoT時代に向けネットワークワイドな分散コンピューティングの実現

データセンターの  
仮想化

複数データセンターの  
仮想化

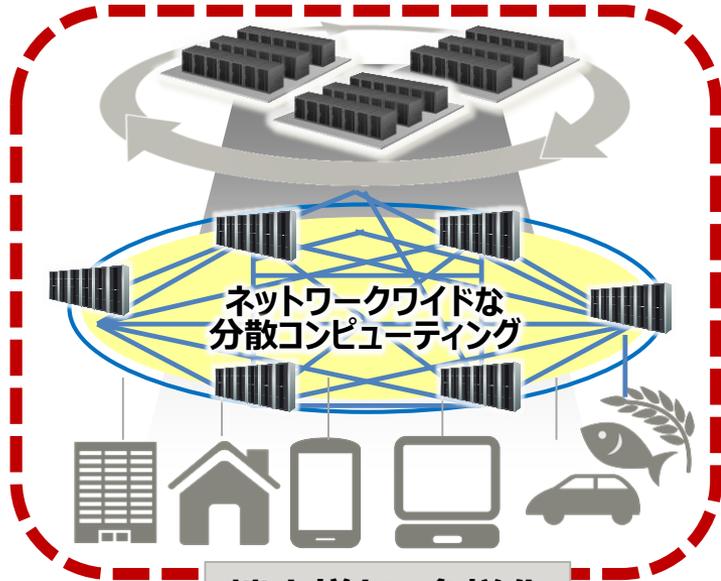
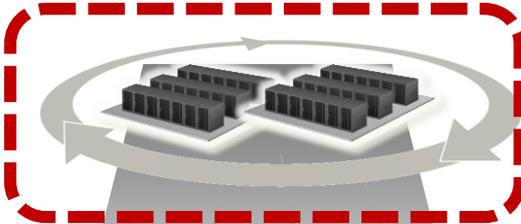
ネットワークワイドな  
分散コンピューティングの実現

SDN

SDN

SDN

データ  
センター



広域  
ネットワーク

(2014年5月発表)

フロント



端末増加

端末増加・多様化

Amdocs社とキャリア向けソリューションにおいて提携 (2014年10月)

# 次世代スーパーコンピュータに向けた取り組み

- 30年以上にわたり常にHPC分野をリード
- 文部科学省/理化学研究所が進めるポスト「京」開発（フラッグシップ2020プロジェクト）基本設計に参画



FUJITSU Supercomputer  
PRIMEHPC FX100

## フラッグシップ 2020プロジェクト

### 重点課題

- ・健康長寿社会の実現
- ・防災・環境問題
- ・エネルギー問題
- ・産業競争力の強化
- ・基礎科学の発展 等

# 売上目標・投資計画

# 新規領域の投資（2014-2016年度累計）

■成長戦略の実現に向けて2,000億円を計画

グローバルデリバリーの強化

500億円

ソーシャルイノベーション

500億円

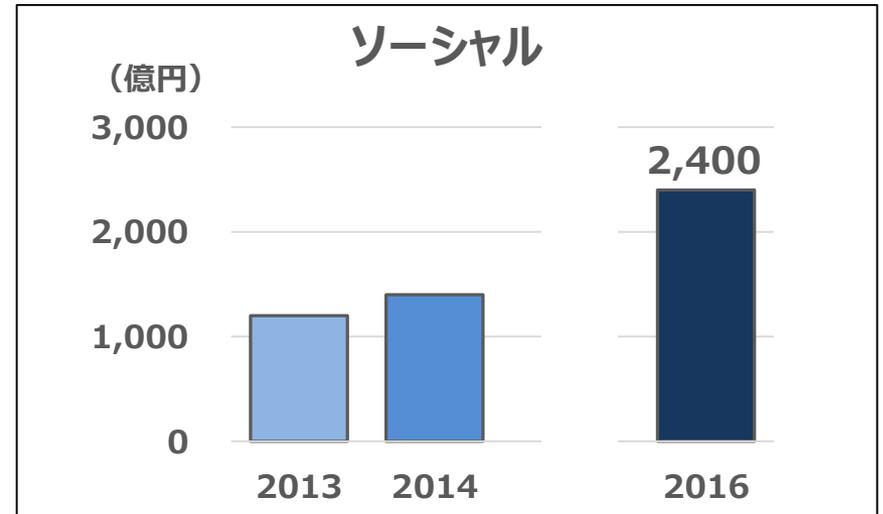
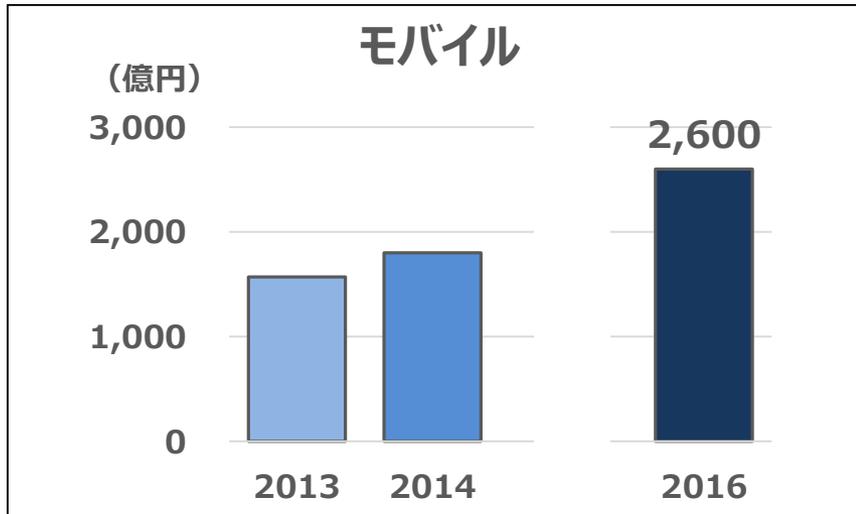
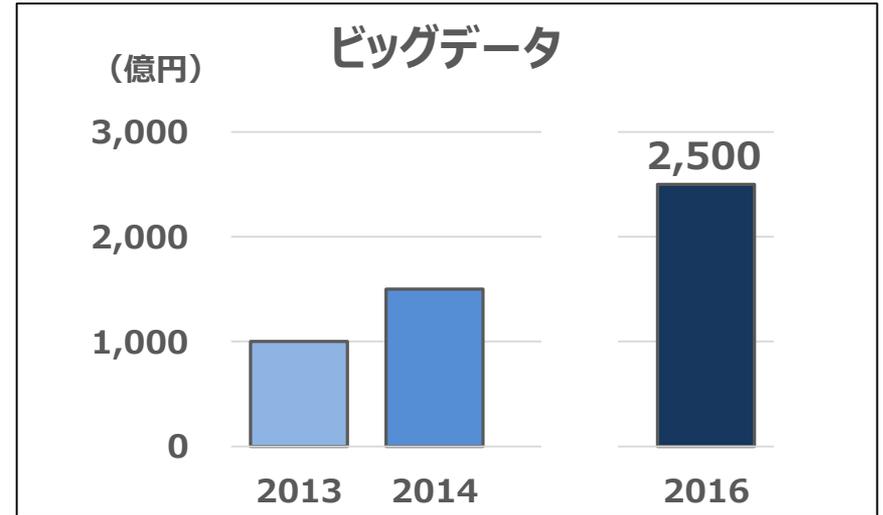
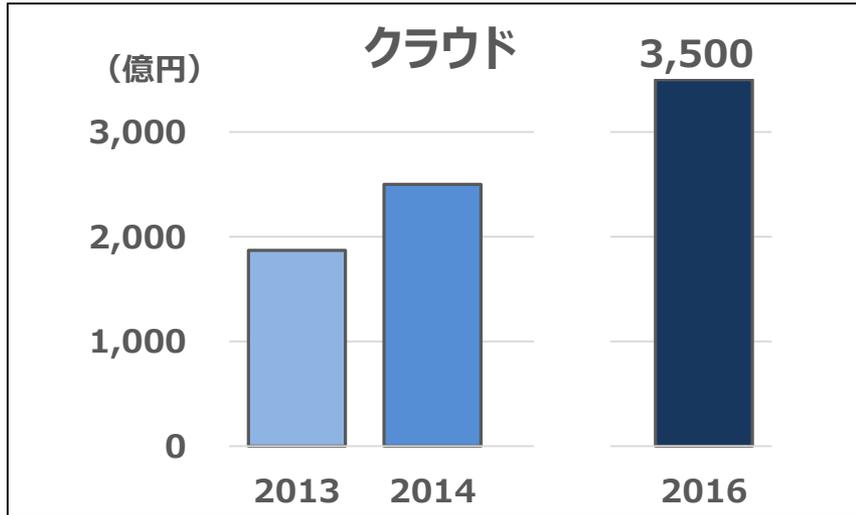
ビジネスイノベーション

1,000億円

既存業務システムの  
モダナイゼーション

# イノベーション領域の売上目標

## ■2016年度にイノベーション領域を収益の柱の一つに

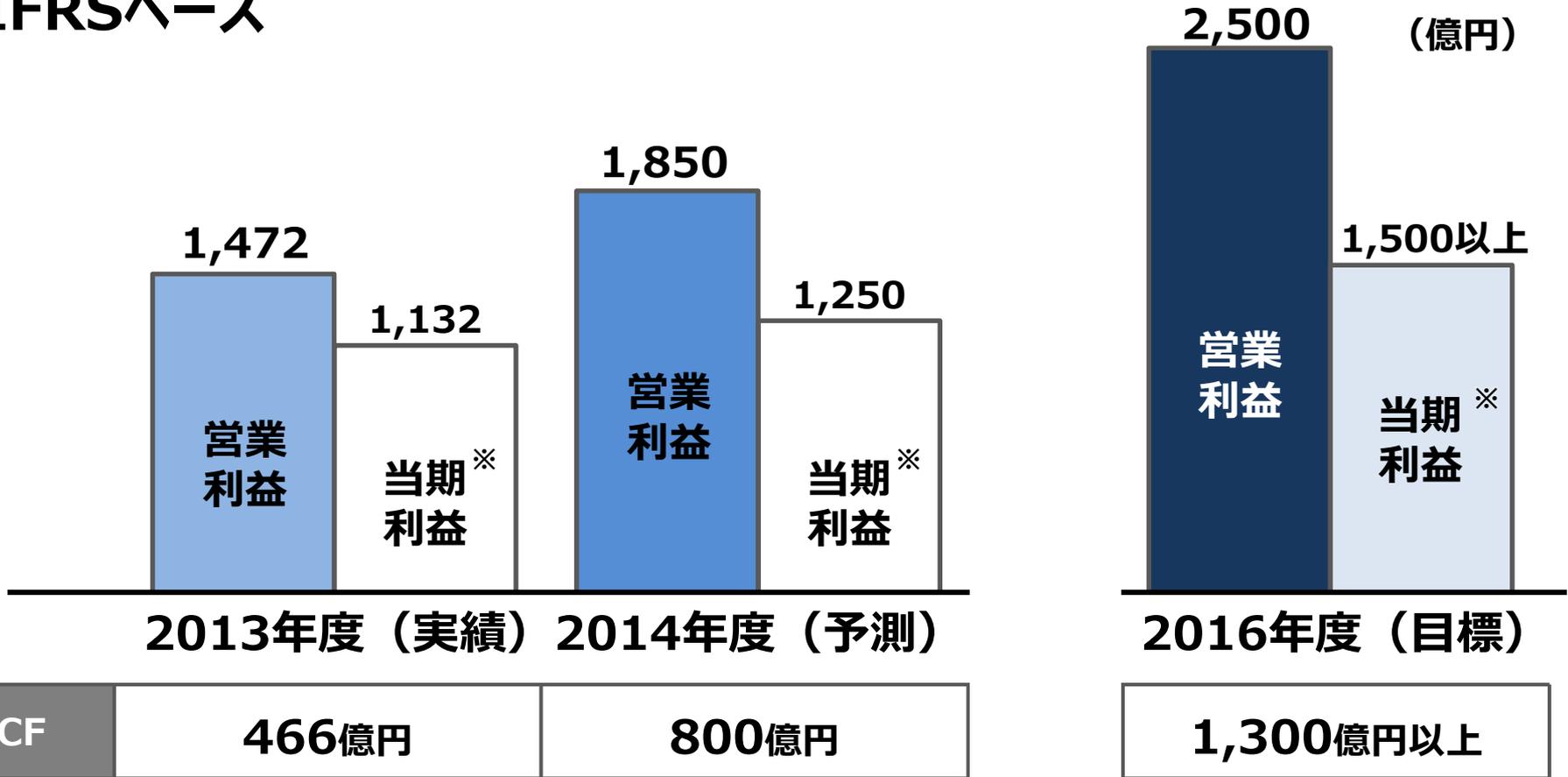


※ 商談ベースでの売上(分野間の重複あり)

# 中期目標

## ■ 投資拡大と利益成長の両立

IFRSベース



※親会社の所有者に帰属する当期利益



**FUJITSU**

shaping tomorrow with you

# 免責事項

このプレゼンテーション資料、及びミーティングで配布されたその他の資料や情報、及び質疑応答で話した内容には、現時点の経営予測や仮説に基づく、将来の見通しに関する記述が含まれています。これらの将来の見通しに関する記述において明示または黙示されていることは、既知または未知のリスクや不確実な要因により、実際の結果・業績または事象と異なることがあります。

実際の結果・業績または事象に影響を与うるリスクや不確実な要素には、以下のようなものが含まれます。

(但しここに記載したものはあくまで例であり、これらに限られるものではありません)

- 富士通の提供するサービスまたは製品にとって主要な地域(アメリカ合衆国、EU諸国、日本、その他アジア諸国など)のマクロ経済環境や市況動向。中でも当社顧客のIT支出に影響を及ぼすような経済環境要因。
- 急速な技術変革や顧客需要の変動。及び富士通が参入しているIT市場、通信市場、電子デバイス市場での激しい価格競争。
- 他社との戦略的提携や、合理的条件下での他社との取引を通じて、富士通が特定のビジネスから撤退し、関連資産を処分する可能性。およびこのような撤退・処分から発生する損失の影響。
- 特定の知的財産権の利用に関する不確実性。特定の知的財産権の防御に関する不確実性。
- 富士通の戦略的提携企業の業績に関する不確実性。
- 富士通の保有する国内外企業の株式の価格下落が、損益計算書や貸借対照表などの財務諸表に与える影響。およびこの保有株式の株価下落により発生した富士通の年金資産の評価減とこれを補うために追加拠出される費用の発生による影響
- 顧客企業の業績不振、資金ショート、支払不能、倒産などに起因する売掛債権の回収遅延や回収不能によって、当社が被る損害の影響
- 富士通が売上高をあげている主な国の通貨、および富士通が資産や負債を計上している主な国の通貨と日本円との為替レートの変動により発生する為替差損益の影響(特に、日本円と、イギリスポンド、アメリカドルとの間の為替差損益の影響)